

旧正月の月替わりで、 今年の1月・2月統計には注意が必要か

中国をはじめ東南アジアの多くの国では、旧正月を盛大に祝う習慣があり、中国においては、旧暦の大晦日からの7日間が春節として大型連休になります。旧暦元日は、1月から2月の間で毎年移動するため、春節の連休は、1月が中心になるか、2月が中心になるか、年によって異なります。このため、春節連休が前年と異なる年は、1月、2月それぞれの月の稼働日数が前年同月と比べて大幅に変化するため、経済統計などにおいて前年との比較を行なう場合、かなりの歪みが生じることになります。

たとえば、春節連休が1月から2月へと変化しているのは、過去10年では、2001年-2002年、2004年-2005年、そして2009年-2010年がそれに当たります。このような場合、稼働日数は、1月(前年:少ない→当年:多い)、2月(前年:多い→当年:少ない)となり、統計数値の前年比は、1月が強めに、2月が弱めに出る傾向が顕著になります(下表参照)。2002年、2005年と同様に今年も、中国や東南アジアなどに関する1月、2月の前年比較データを見る際には、このような歪みに注意が必要です。

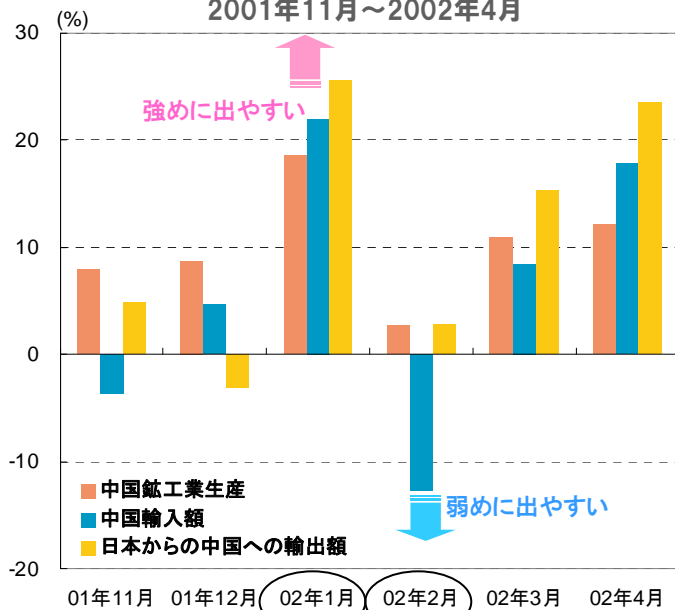
過去10年間の中国の旧正月

	旧暦元日	春節連休	
		1月	2月
2001年	1月24日	○	
2002年	2月12日		○
2003年	2月1日		○
2004年	1月22日	○	
2005年	2月9日		○
2006年	1月29日	*	
2007年	2月18日		○
2008年	2月7日		○
2009年	1月26日	○	
2010年	2月14日		○

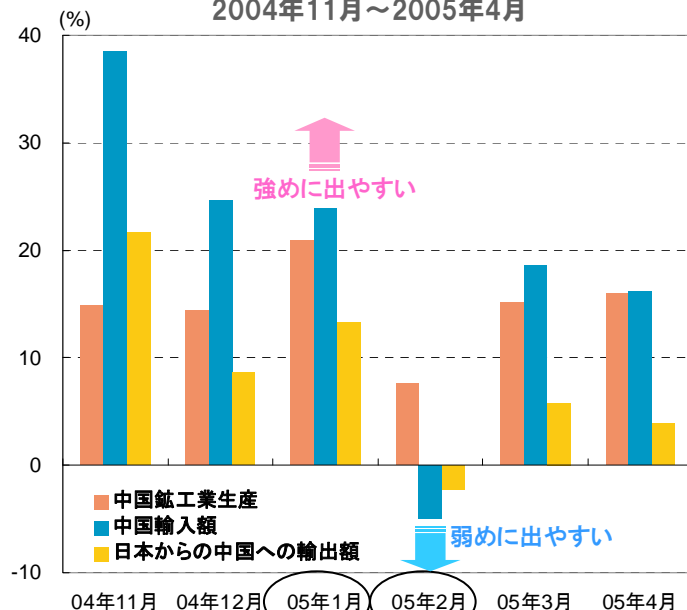
* 2006年の春節連休は1月下旬から2月上旬に跨る

中国鉱工業生産・中国輸入額・日本から中国への輸出額(各前年比)の推移

2001年11月～2002年4月



2004年11月～2005年4月



※中国国家统计局、中国税関総署、財務省など、信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。